石川地域づくり協会では、

七尾市の地域づくり団体「たかしな地区活性化協議会」に訪問してお話を伺いました。

たかしな地区活性化協議会(七尾市)

2021年6月取材

【団体 PR】

たかしな地区活性化協議会では、住民 自らが地域の方向を決め、住民が主体に なり地域づくりを進めている団体で、高 階地区コミュニティセンター内に事務所 があります。

組織は、福祉部会、防災・防犯部会、 産業振興部会、生涯学習部会の4部会から成り立っており、地区内にある9町約 950人(高齢化率46%)の住民が、町を 超えてお互いに支えあいながら暮らして いける住民自治組織を編成しています。

なお、同協議会は、第 10 回地域再生大 賞優秀賞を受賞し、石川県の共生社会づ くりモデル地域コミュニティ認定を受け ています。



高階地区コミュニティセンター (旧高階小学校) を上空からドローンで撮影

【団体の活動について】

たかしな地区活性化協議会は七尾市の 指定管理を受け、高階地区コミュニティ センターの管理とこれまでの公民館活動 に防災と福祉を加えた地域づくり活動を 進めています。

活動の一環として、各町のルールやしきたり等を盛り込んだ「集落の教科書」を発行して移住された方が地域に馴染むきっかけや支援に役立てています。町ごとに異なるルールや地区の行事なども掲載されているため、住民にとっても他町の情報を再確認するきっかけとなっているようでした。

この教科書を作成したことで、移住者 を大事にしているというロコミが広ま り、小さな地区ですが移住者が多いよう です。

また、現在はコロナ禍のため多くの事業を中止していますが、昨年、旧学校跡の運動場を駐車場にし、校舎に大型スクリーンを設置してドライブインシアターが実施されました。

【工夫したところ】

少子化の影響で高階小学校が複式学級になってきたので、子供たちのためにと地区住民自らが統合の案を市に申し出ました。そして、その小学校跡地を、高階小学校を卒業した人たちの帰る場所として残し、さらに地域住民の命を守る避難場所を兼ねた施設としたいという願いから、高階地区コミュニティセンターを旧学校校舎に移設して欲しいと提言されたそうです。

このように、地域住民が地域の方向を 自分たちで決めています。それができる のは9町950人の住民の仲が良く、意見 がまとまるからでしょう。協議会長の宮 崎さんも「仲が良いのは、9町がよく似た 生活形態であることが要因かも」と笑っ ておられました。

また、「よそ者(移住者)の地域を視る 目線が住民を刺激している」ともおっし ゃっており、よそ者の意見を素直に受け 入れる心の大きさも地域を変えて行く要 因の一つなのではないかと思いました。



コミュニティセンター前で、訪れた地域づくり協会 運営委員と記念撮影

【今後の課題】

「持続可能な賑わいのある地域づく り」そして、「日常的に住民が集えるコミ ュニティセンターづくり」が、今後の課 題だそうです。

これまで様々なイベントを成功させて きている高階地区ですが、イベント効果 は現れるものの、どれも一時的なものが 多かったようです。

そうした課題解決のためには、日常的 に地域住民が参加しやすい交流の場づく りが必要であるとの考えから、その場所 となるコミュニティセンターそのものの 施設整備に力を入れていくとのことです。

例えば、近隣に気兼ねなくサークル活動が行えるための施設の防音対策。また、地域住民がいつでも自由に訪れて、住民同士で語らえる「いつでもカフェ」コーナーの設置。家庭菜園をされている住民の野菜を提供できるコーナーの設置などを検討されているようです。

さらに、子どもやお年寄りが遊んだり、散歩したり、常に声が聞こえる場所 づくりのため、運動場を芝生化する計画 も進んでいます。

しかし、これらを実現するには、市の 条例改正や予算など大きなハードルがあ るようです。夢の実現に向けて、市に対 して提案書の提出する準備をされていま す。地域づくりは、「守りではなく攻め」 であるとの会長の力強い言葉と高階地区 住民の団結が夢を実現していくと思って います。

【代表者について】

会長の宮崎さんは、今年で協議会長になって5年目になります。過去には、地元町会長、町連の会長も歴任されています。まさに、地域の現状を知り尽くした地域づくりのベテランといえます。

定年後はのんびりと晴耕雨読の生活を するつもりでしたが、協議会のお世話の 他に近くの障がい者施設の事務のお手伝 いもされ、多忙な日々を過ごしていらっ しゃいます。

宮崎さんは、ご自身について一人っ子なので非常にわがままと語っていましたが、結果をだしている組織のリーダーは信念を持って活動している人が多いの

で、それをわがままと表現されていらっしゃるように受け止めました。

宮崎さんはこれまでの活動を振り返り、「協力者がいるからできる。それでも 地域づくりは難しい。」とおっしゃいました。シンプルな言葉ですが深くこころに 響きました。



わがまちのことを朗らかに話される宮崎会長

【団体の連絡先・リンク等】 高階地区コミュニティセンター

TEL: 0767-57-3239

Facebook:

https://www.facebook.com/takashinanan

ao

投稿者:運営委員 定免 久美子